

キャラクター名
柚木 北斗 (ゆずき ほくと)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス サラマンダー		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	“嫉鬼組”幹部衆
	オプショナル		年齢	不明 (外見12歳)	性別	女
覚醒	忘却	衝動	飢餓	初期侵食率	40	%
出自	強制解放	経験	記憶喪失	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	0	0			3	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	3	1	0			4	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN(コネ)	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【厄寄せの灯】		0				4+5+6/BSを無視しガード、攻撃者に15点のHPダメージ、シーン2回、ラウンド1回まで
/100↑		0				18点ダメージ、シーン3回に向上
【壺の炎尾】(A)		6r		+9		7+8/与ダメ時使用可能。シーン1回まで
/100↑		8r		+12		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
メモリー: 記憶の中の誰かへの執着	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
No.97先行種	P	N		
“首無し”無尻	P 尊敬	N 偏愛		
“万蛇羅”影亡	P 庇護	N 憐憫		
“滝夜叉姫”孤湖 涙鳴	P 有為	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:ウロボロス	2	2	Xジャー	-	-	シンドロ	-	
効果: 判定のC値-Lv(下限7)								
原初の赤:振動球	1	3+1	Xジャー	視界	-	RC	-	
効果: 攻+Lvの射撃攻撃。装甲無視								
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間。【精神】達成値+Lv×2								
蒼き悪魔	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: R1。攻撃者にLv×3HPダメージ								
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: メインプレイ1。カバーリング								
原初の紫:獣の誇り	2	2+1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: シーンLv。BS無視でガード。侵基+4								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: シーン間。判定ダイスLv×2								
喰らわれし費	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: シーン1。シーン間自身の攻撃力+Lv×3								
螺旋の悪魔	5	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: BS暴走。R間攻+Lv×3								
ヒューマズ`ネバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv他。侵基+5								
まだらの紐	★	1	Xジャー	至近	効参	効参	-	
効果: 影に知覚能力を持たせる								

【経歴】
「よく頑張った! もう大丈夫じゃぞ……このお礼を買えばな!! あ、ちょっとまって、どこにいくのじゃ。置いていくなあ!？」

狐耳系幼女。自称『古くて偉い神霊さま』だが、微妙に態度が小物臭いため説得力はない。
実際に今は神格を喪っており、再び神の座に舞い戻るために日々信者獲得を目指し布教を行っている。だがその布教活動もどこか詐欺っぽく、こすっからいのであまり上手くいっていない。
実のところ、キツネとして生まれながら長年の修行の果てに獣から解脱を果たし、起源(オリジン)が動物(アニマル)ではなく伝承(レジェンド)になる程度にはガチ目の神霊なのだが、本人の言動がすべてを台無しにしている。

かつて、『インフィニティコード』と称されるものに触れたことがあり、それが原因で暴走、封印されている。
封印はFHのとあるマスターレスの手によって解かれたが、何故か彼は北斗を利用することなく放逐した。一説には神由来の重すぎる恩返しにドン引きしたためと言われている。
かくして帰る場所もなく、頼るべき友は皆死に絶えた現代。レストランのゴミ箱を漁っているところを涙鳴に保護され、“嫉鬼組”幹部衆に昇格するに至る。